

令和4年度 第1回 新潟市立坂井輪図書館協議会 議事概要

日 時： 令和4年7月26日（火） 午後3時30分～午後5時

場 所： 坂井輪地区公民館5階 音楽室2

出席者： 新潟市立坂井輪図書館協議会 郷会長、関副会長、石川委員、奥山委員、
田村委員、星名委員
事務局 真柄館長、川上主任、小林主査、藤田主査
傍聴者 なし

I 次第

- 1 開会
- 2 館長あいさつ
- 3 委嘱状交付
- 4 会長及び副会長選出
- 5 議事
 - (1) 令和4年度 事業計画及び予算について
 - (2) 令和3年度 事業報告及び図書館ビジョン実績評価について
- 6 その他
- 7 閉会

II 議事

- (1) 令和4年度 事業計画及び予算について
 - (事務局) 概要説明
 - (会長) 令和4年度の事業計画だが、コロナウィルス対策がなされてきて、事業が復活してきていると感じた。「おはなしのじかん」を以前より短くして開催しているとのことだが、どれくらいの長さなのか。
 - (事務局) 現在は20分で実施している。以前は30分であった。
 - (会長) そのあと設けている「絵本相談タイム」では、毎回質問があるのか。
 - (事務局) こちらからも声かけをしているが、相談はあつたりなかつたりである。
 - (会長) 昨日、中学生対象の「書架ボランティアデビュー」があつたが、何校の参加があつたのか。
 - (事務局) 坂井輪図書館近隣の4つの中学校に案内をしたが、今回の参加は1校のみだった。
 - (会長) 新型コロナウイルス感染症で事業が縮小されていたため、参加者が戻るのには時間がかかるのではないかと考えていた。
 - (石川委員) 学校も昨年度と違って、地域の活動などにウィズコロナということで、感染症対策を十分に行い、生徒を出していこうという方向なので、「書架ボランティアデビュー」を校内放送や全員に配付されているタブレットで周知した。
人数は少ないが、生徒自らが行動を起こしてくれたことをうれしく思っ

ている。

(2) 令和3年度 事業報告及び図書館ビジョン実績評価について

(事務局) 概要説明

(田村委員) 資料6のアの施策②に「レファレンス受付件数」があるが、コロナ禍なのに思ったより多い印象を受けた。これは電話の問い合わせなのか。

(事務局) 調べものの調査のほかに所蔵調査も含まれている。予約の受付とその本の貸し出ししかできなかった時期に、電話での問い合わせが多くあったこともある。一昨年、内野図書館の工事による休館で減った分が戻ったのも要因のひとつである。

(会長) レファレンス件数が増えているのは、課題解決だけではなく、問い合わせも含まれているためと理解してよいか。

地域の課題解決に役立つ資料の活用も目標より実績の数字がすごく多いが、どのようなカウント方法なのか。

(事務局) 課題解決に役立つ資料の活用については、展示コーナーの展示期間を短くして、より今話題となっているもののコーナーを急ぎょ作ったり、有名作家の追悼展示なども行った。

(会長) 西区には、有名な方が多くいることを知った。第2回直木賞を受賞した鷺尾雨工などの特集を組んだら身近になるのではないか。

(事務局) 黒埼出身ということで、黒埼図書館で展示することもある。

(副会長) ウの「子どもの読書活動を推進します」について、児童書の貸出冊数がとても多いと感じた。施策②の人数は少ないが、動画撮影で、学校に持ち帰り多くの子どもたちが観たものは含まれているのか。

(事務局) ②の数値は、施設見学者数ではなく、学校や保育園などからの依頼により講師として伺った図書館職員の数である。

(副会長) 資料4の事業報告の施設見学には、坂井東小の参加者が1人としてしか見えていないが、学校では多くの子どもたちが観ていて、数字として目に見えないところにも実績があることを伝えたかった。

(会長) 子どもの読書活動推進に新潟市も新潟県も力を入れている。そのため市立図書館でブックスタートが行われ、そのあと、うちどく読書ノート配布がある。その後、小学校、中学校に上がると市立図書館では追跡ができなくなってくると思う。各学校でも読書ノート配付などを行っているのか。

(副会長) 学校でもうちどくの活動を推進している。

(会長) 市立図書館と学校図書館の連携は、どのようになっているのか。

(石川委員) 学校の中では新型コロナウイルス感染症拡大の前後で大きな違いはない。図書室の利用は1年生が多く、学年が上がるに従って少なくなる傾向にあるが、その速度は遅くなっていて、読書離れという感じはない。どう連携していけばよいか。中学校に対しては、どんな支援があるのかご紹介いただければありがたい。

- (会 長) 中学校で読み聞かせの機会はあるか。
- (奥山委員) 昔はあったが、今は行っていない。中学生でも興味を持っていただけだったので、そういう機会があるといいと感じている。
- (石川委員) 中学生になると、読書のほかにも資料の活用としての図書館利用が多くなっている。
- (田村委員) 以前は中学校でも読み聞かせがあったが、今はいろんな意味でハードルが高い。小学生も高学年になるとひとりひとり個人差が出てくる。中学生になると働きかけ次第で、自分で学校と市立図書館と使い分けをすることができるようになるのではないかと。新潟は県も市も子どもの読書活動推進を大きな柱にしている。その柱を崩さないでほしいが、これからは、シルバー世代が親しめる環境もあるとよい。子どもに本を読んでもらいたいが、そのためには、まわりのおとなが本を楽しむ姿を目にすることが大事。子どもからおとなへと循環できると生き生きした文化の育成につながると思う。
- (会 長) 子どもがおとなの姿を見て読書好きになるという循環型になるとよい。石川委員の、中学生になると図書館では調べものが多いというのは、うれしい発言だった。今は、タブレットで検索することができるが、学校図書館は探求学習の拠点であってほしいと願っているので、市立図書館が本好きを育てようというのがうまくまわってきているのではないかと感じた。
- (星名委員) ハンディキャップサービスの利用がゼロだったのは残念である。大活字本、セカンドライフコーナーなど、高齢者の方はカテゴライズされていない印象を受けた。シニアへの取り組みの視点を入れていただけたらと感じた。

Ⅲ その他

- (奥山委員) 週刊誌や月刊誌が多いのは国の方針なのか。
- (事 務 局) 国の方針ではないが、公共図書館としていろいろな資料を提供することの一環として雑誌や新聞も用意している。
- (奥山委員) あそこまで雑誌を揃える必要があるのかと思ったのでお聞きした。
- (事 務 局) 雑誌には本より新しい情報が載っていることもあるので揃えている。
- (星名委員) マイナンバーカードで貸出しができるのか。
- (事 務 局) 図書館で連携手続きをするとマイナンバーカードで貸出しができるようになる。
- (星名委員) 紐づけをするということか。
- (事 務 局) そうのことだ。
- (田村委員) デジタルが苦手な高齢者にとっては、技術の進歩に追いつけない。高齢者にもやさしく使い方講座などを実施していただきたい。
- (事 務 局) 来月、お客様ご自身の端末で個別に説明する講座を予定している。

IV 配付資料

令和4年度 第1回 新潟市立坂井輪図書館協議会次第

資料1 図書館法・新潟市立図書館条例・新潟市立図書館協議会運営規則 [抜粋]

資料2 令和4年度 事業計画（西区の図書館）

資料3 令和4年度 西区図書館予算

資料4 令和3年度 事業報告（西区の図書館）

資料5 令和3年度 図書館・地区図書室・予約本受取サービスの蔵書・利用状況
（速報版）

資料6 第二次新潟市立図書館ビジョン 令和3年度実績評価シート（西区）

資料7 にいがた市電子図書館の利用状況

その他資料

スマート貸出カードのサービスを開始します